

2016年2月10日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所プロパティマネジメント株式会社

～三菱地所グループの商業施設で訪日観光客・外国人就労者へのサービス体制を強化～

業界に先駆け“接客に特化した多言語翻訳アプリ”を開発 まずは丸の内と横浜の商業テナント約1,000店舗で試験運用開始

三菱地所株式会社および三菱地所プロパティマネジメント株式会社は、当社グループが運営する丸の内・横浜エリアの商業施設等において、訪日観光客や、エリアで働く外国人就労者の方へのサービスを強化するために、商用接客に特化した翻訳アプリの開発に着手します。各エリアの商業テナント約1,000店舗を対象に、まず2016年2月下旬より試験期間として、既存の多言語音声翻訳アプリを使用させていただき、接客現場でのニーズを収集。その後、上がってきた要望を踏まえてオリジナル版を開発し、2016年11月より商業テナント店舗に提供します。

2015年度も在留外国人数・訪日外国人観光客数がともに過去最高を更新する中、丸の内・横浜エリア各施設でも外国人観光客が増加していることを受け、商業テナント向けにスタッフの外国語教育研修や外国人観光客用の接客ツールを作成し配布するなど、様々な対応を行ってまいりました。

また、外国人観光客とともに、外資系オフィステナントの誘致に伴い外国人就労者の方が増えており、多くの外国人のお客様にもお越しいただく商業施設にふさわしいサービスを実践するため、この度接客用翻訳アプリの開発に着手することとなりました。

オリジナル版翻訳アプリ開発に向けた試験期間では、29言語間の翻訳に対応する多言語音声翻訳アプリ『VoiceTra(ボイストラ)』[※]を採用。2016年2月下旬～10月まで、丸の内・横浜エリアの商業テナント約1,000店舗で本アプリをインストールして使用していただきます。その後、各テナントでの利用状況を検証し、“和食ならではの調理方法”や“商品の特徴”の説明など、接客シーンで活用しやすい表現を、現場からのニーズを基にアプリへ反映することで、三菱地所グループ商業施設のオリジナル版翻訳アプリを新規に開発し、2016年11月より商業テナントへ本格的に提供してまいります。また、マークイズやプレミアム・アウトレットをはじめとする三菱地所グループの他エリア商業施設や、ホテル、美術館への活用に加え、他社の商業施設等でもご希望があればご利用いただけるように検討しております。

三菱地所グループでは、今後ますます増加する訪日観光客や外国人就労者の方へのサービスを向上していくことで、多くの来街者の方により快適に楽しんでいただける街づくりを進めてまいります。

※「VoiceTra」:

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が、2010年7月に公開した多言語音声翻訳アプリ。29言語間の翻訳・19言語の音声入力・15言語の音声出力が可能。翻訳性能TOEIC600点の日本人に相当する。公式ホームページ:<http://voicetra.nict.go.jp/>



【左】アプリ画面イメージ / 【右】アプリを活用した接客イメージ

＜本件に関する報道関係の方のお問合せ先＞

三菱地所プロパティマネジメント株式会社 丸の内PR事務局
TEL:03-4323-0100 / FAX03-3265-5135(平日9:30~18:00)
E-mail: marunouchi@ozma.co.jp

■対象ビル 一覧

丸ビル、新丸ビル、丸の内ブリックスクエア、東京ビル TOKIA、三菱UFJ信託銀行本店ビル、iiyo!!(イーヨ!!)、丸の内仲通りビル、郵船ビル、丸の内二丁目ビル、三菱ビル、丸の内MY PLAZA、三菱商事ビル、新東京ビル、新国際ビル、国際ビル、新有楽町ビル、有楽町ビル、有楽町電気ビル、丸の内オアゾ、パレスビル、大手町ビル、大手町フィナンシャルシティ、朝日生命大手町ビル、新大手町ビル、大手町カンファレンスセンター、ランドマークプラザ、クイーンズタワーA 等

○参考情報:丸の内エリアの新しいコンセプトワードについて

Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

三菱地所(株)は2015年8月、丸の内(大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区)エリアのまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」を踏まえ、まちづくりコンセプトを伝えるワード「Dynamic Harmony」を制定しました。「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。